

(3) 都市環境

① 土地利用

市域の土地利用は、丘陵地となっている西部をのぞき、市街地が大半を占めています。緑地（田、畑、山林）は、市域全体の33.4%であり、その大部分を西ノ岡丘陵が占めています。

1991年(平成3年)から2006年(平成18年)への土地利用の変化をみると、西部の丘陵地や東部の農地の一部が開発により建物用地や道路に変わっています。

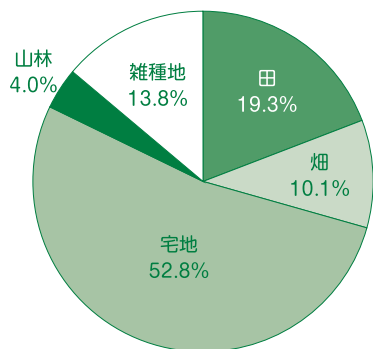


図 2-1-11 土地利用状況 (平成 22 年)

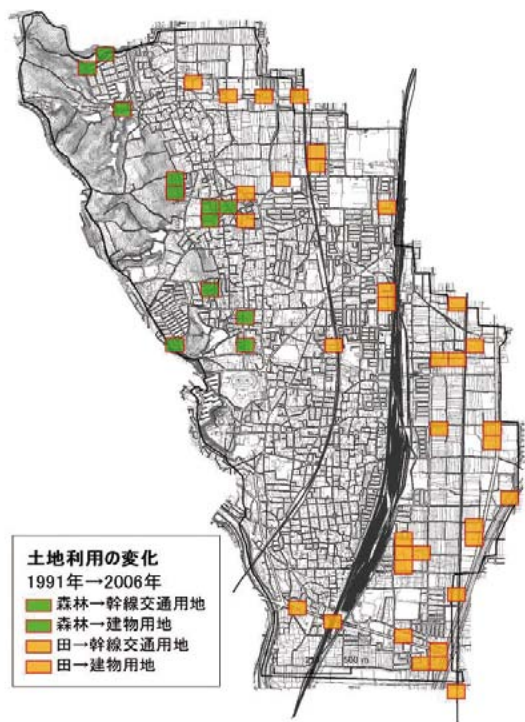


図 2-1-12 土地利用の変化

出典：国土数値情報 土地利用細分

② 緑地・公園

市内には、竹林が多く見られ、景観的な特性を形成しています。公園は2010年度(平成22年度)に3か所整備され、111か所となり、面積は約7,100㎡増加して67,888㎡となりました。人口1人当たりの公園面積は1.25㎡に増加しました。

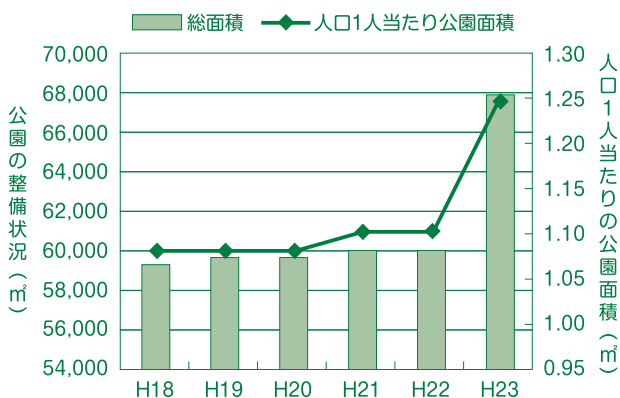


図 2-1-13 公園整備状況 (H23.4.1現在)

出典：向日市統計書



新たに整備された公園

③ 水辺

本市を流れる大河川はありませんが、農林水産省の疏水百選に選ばれた「洛西用水」の一部である寺戸川など、中小河川やため池などの身近な水辺が見られます。



寺戸川

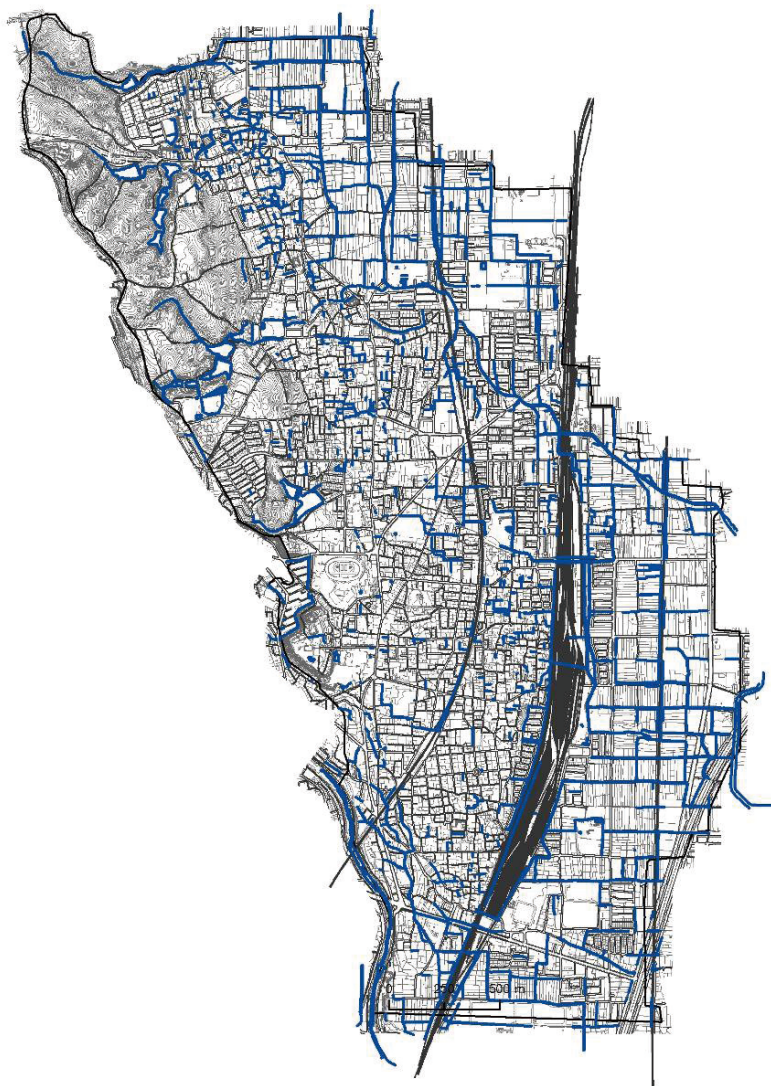


図 2-1-14 水系図 出典：国土基盤地図情報

④ 歴史資源

本市の歴史は、原始時代にさかのぼって古く、現在まで連綿と人々の営みが続けられてきました。このため、市域には、歴史・文化遺産が多数存在しています。

とりわけ、784年（延暦3年）から794年（延暦13年）にかけての宮都「長岡京」の時代、日本の政治・経済・文化の中心として栄えました。

なかでも、発掘調査で確認された大極殿は、天皇が政治を司ったところで、国の史跡に指定されています。2010年（平成22年）3月、天皇皇后両陛下の本市への行幸啓に際しては、大極殿跡や長岡宮跡を展示している文化資料館を視察されました。

また、本市の発展の礎となった西国街道や向日神社を中心に、文化的価値を有するまちなみが残されており、都市景観を形成する上で大切な要素となっています。

⑤ 交通

市街地内の道路（主として府道・市道）は、幅員が狭い半面、市東部には東海道新幹線や名神高速自動車道といった高速交通基盤のほか、JR、阪急電鉄、国道171号などの幹線交通軸が集中しています。

北部周辺では、2003年（平成15年）に阪急電鉄洛西口駅が開業したのに続き、2008年（平成20年）にJR東海道本線に桂川駅が開業しました。



史跡 長岡宮跡（大極殿公園）



向日神社



西国街道